

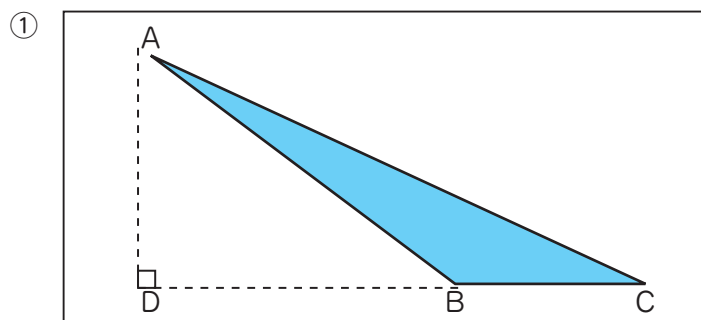
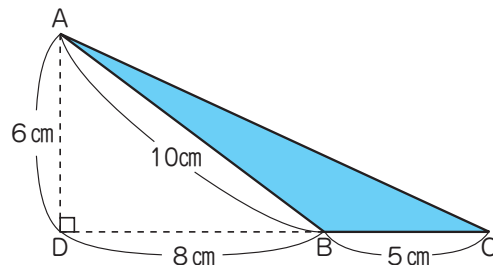
面積

5 年 組 名前

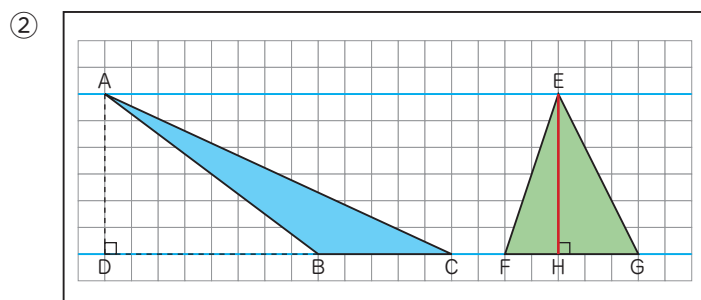
高さが図形の中にないときの、三角形の面積の求め方を考えよう。

みゆきさんは、右の面積を求めています。始めは、大きな三角形から小さな三角形をひいて面積を求めているのですが、友達の意見を聞いて、三角形の公式を使って求めてみようと思っているようです。

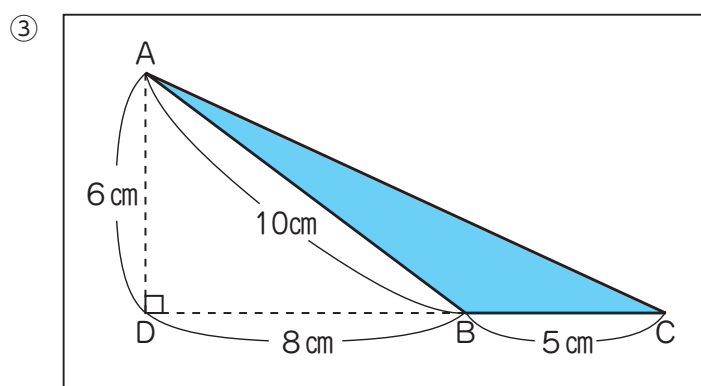
みゆきさんがどのように考えたのか、() に当てはまる記号や式、数を書きましょう。



大きな三角形から小さな三角形を引いて面積を求めると、大きい三角形ADCの面積は
(式)
(答え cm^2)、小さい三角形ADBの面積は
(式) (答え cm^2)
だから、色がついている部分の面積は、
(式) (答え cm^2) になります。



四年生で学習した「平行な2本の直線の『はば』は、どこをはかっても等しい」ことから、辺EHと同じはばの辺は、
(辺) になります。



三角形ABCの底辺を 辺BC とすると、高さを
(辺) と見ることができます。
すると、三角形ABCは、底辺の長さ (cm)、
高さ (cm) の三角形として見ることができます。
これをもとに、三角形ABCの面積を公式に当てはめて求めると、(式) (答え cm^2)
になり、①の答えと同じになります。
つまり、三角形の外に高さがあっても、面積を求める
公式を使って求めることができます。

さらにチャレンジ! ~小さい三角形をひいた式と公式に当てはめた式のひみつ~

小さい三角形をひいた式の $13 \times 6 \div 2 - 8 \times 6 \div 2$ を () $\times 6 \div 2$ のように形を変えると、
公式を当てはめた式の $5 \times 6 \div 2$ と等しくなるので、三角形の外に高さがあっても、公式を使って求める
ことができる。

ふり返し (チャレンジワークシートに取り組んで、気が付いたことなど)